

こんにちは！
めぐりん菜通信をお読みいただきありがとうございます。

今月号は、「鈴盛農園 ハタケマルシェ」のご紹介とめぐりん菜新提案書の記事をお届けします。

今年は梅雨らしい梅雨がが続いています。梅雨明け予報は7月21日。明ければ夏の到来です。
(担当：斉藤)

鈴盛農園 農園直売 ハタケマルシェ

梅雨の長雨で野菜は順調に生育しています。めぐりん菜堆肥を使う鈴盛農園では、タマネギの出荷が終了し初夏の野菜へ切り替わりはじめました。



もう少し時間はかかりますが、次はとうもろこしと枝豆、マルシェの盛況は続きます。



めぐりん菜堆肥は、副資材にモミガラを使うため、土壤に空気を多く取り込み、根菜類の栽培に最適！とうれしい評価を頂いています。

☆新しいめぐりん菜提案書が完成しました。

新提案書は、生ゴミ廃棄量の多いお客様(食品加工工場など)を意識し、めぐりん菜の様々なメリットとともに、コストダウン効果を明確にした提案となっております。

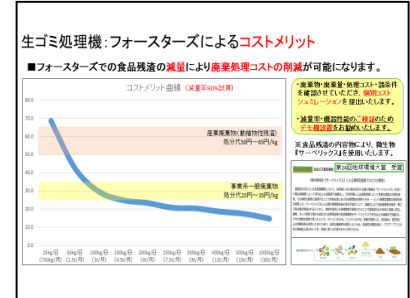


めぐりん菜のメリット

- 食品廃棄物を減らし、再生利用
食品リサイクル法
- 廃棄物の適正処理
廃棄物処理法
- 環境活動への貢献
二酸化炭素(CO2)排出量の削減
- 地域社会との交流・貢献
地産地消、顔の見える安心・安全な循環農作物
- 廃棄物置き場の衛生環境改善
商品への異物混入リスク軽減

メリットでは特に、めぐりん菜へのご参加により、廃棄物の適正処理がローコストで可能になること、生ゴミ処理機の設置により廃棄物置き場の衛生環境が大きく改善されることをまとめました。

コストダウン効果では、生ゴミの投入以外のお手間をかけないことを前提に、極力実勢ベースにてコストシュミレーションを実施いたしました。あわせてめぐりん菜の事例も充実させております。



ご興味ございましたら是非、豊田産業(株)までお問い合わせ下さい。